

傷害雑草情報－ 1 （2013 年 6 月～2014 年 6 月）

雑草による傷害とは：手足に怪我をする、眼を突くなどです。

人に外傷を与えるリスクのある雑草・低木類には鋭利は刺をもつもの、鋭利な葉・茎をもつもの、切り株等があります。刺をもつ雑草には外来種が多く近年増加の傾向にあり、とくに児童や高齢者がその被害に会いがちです。

<雑草（低木を含む）による傷害例>

- ・ とげによる：葉・茎・花序：アメリカオニアザミ、ヒレアザミ、ハリビユ（葉腋）
葉・茎：ワルナスビ、トゲジシャ、セイヨウトゲアザミ
茎（＋葉柄）：イラクサ、カナムグラ、ママコノシリヌグイ
ノイバラ、サルトリイバラ、アリドオシ、タラノキ
葉のみ：ノアザミ、オニノゲシ
果実のみ：アレチウリ、メリケントキンソウ、イガオナモミ
オオオナモミ、ヨウシュチョウセンアサガオ
- ・ 鋭利な葉による：ススキ等
- ・ 切り株による：ネザサ類、ヨシ、セイタカアワダチソウ等

<質問>

- （１）身の回りの雑草による傷害の事象：自身の経験、観察、見聞としての情報
- （２）身の回りで見つかった「とげ雑草」の種類情報。（１）以外に見られるもの

<回答>

- まとめ**
- ・ 傷害雑草（低木を含む）として 24 種の情報が寄せられました（最多はワルナスビ）。このうちトゲ（あるいは鉤毛）をもつ種は 20 で、その半数の 10 種は近年分布を広げている帰化種です。
 - ・ 傷害の経験については多様ですが、現場の管理作業（草刈り機の使用等除草作業、集草等）中にとというのが最も多く、歩行や運動中の傷害も報告されています。

報告された傷害雑草の種類と発生する問題

草 種	傷害部位	報告件数	発生する問題（多い順）
《トゲや鉤毛をもつ雑草（・低木）》			
<u>ワルナスビ</u> ナス科, 多年草, 帰化種	茎・葉	7	● 現場の作業中に傷ついた・怪我をした。 （草刈り・集草、畑の管理、手取り除草）
<u>ノイバラ</u> バラ科, 低木	茎	4	
<u>ナワシロイチゴ・モミジイチゴ</u> バラ科, 低木	茎	2	
<u>ヤブヘビイチゴ</u> バラ科, 多年草	茎	1	
<u>アメリカオニアザミ</u> キク科, 多年草, 帰化種	茎・葉・花・果実	3	● 通行者や作業者がトゲで傷つく危険がある。
<u>セイヨウトゲアザミ</u> キク科, 多年草, 帰化種	茎・葉	2	
<u>トゲチシャ</u> キク科, 一・二年草, 帰化種	葉・茎	2	● 通行中に接触して傷ついた。
<u>カナムグラ</u> クワ科, 一年草(つる性)	茎	2	
<u>ママコノシリヌグイ</u> <u>ミソソバ</u> タデ科, 一年草	茎	2	● 所属する地域や施設で問題化している。
<u>ハリビュ</u> ヒユ科, 一年草, 帰化種	茎(葉腋)	1	
<u>ヒナタイノコズチ</u> ヒユ科, 多年草	茎(葉腋)	1	● 衣服に着いていた果実に擦れて傷をした。
<u>サルトリイバラ</u> ユリ科, 低木(つる性)	茎	2	
<u>ナワシログミ</u> グミ科, 低木	枝	1	● 衣服を損傷した。
<u>タラノキ</u> ウコギ科, 低木	枝	1	
<u>アメリカセンダングサ</u> キク科, 一年草, 帰化種	果実	3	
<u>ヨウシュチョウセンアサガオ</u> ナス科, 一年草, 帰化種	果実	1	
<u>オオオナモミ</u> キク科, 一年草, 帰化種	果実	1	
<u>アレチウリ</u> ウリ科, 一年草, 帰化種	果実	1	
<u>メリケントキンソウ</u> キク科, 一年草, 帰化種	果実	1	
<u>アレチヌスビトハギ</u> マメ科, 一年草, 帰化種	果実	1	
《その他の傷害原因をもつ雑草》			
<u>ススキ</u> イネ科, 多年草	葉	2	● 作業中擦り傷を負った(草刈り)
<u>イネ科雑草集団</u> <u>クズ</u> マメ科, 多年草	茎葉 ほふく茎・つる	1 2	● 葉の縁で手を切った。
<u>セイタカワワダチソウ</u> キク科, 多年草, 帰化種	茎	1	● 歩行中つるでつまづく危険がある。

個別情報 (20 件)

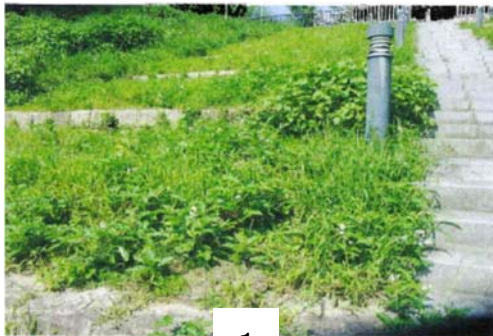
トゲのある雑草

＜ワルナスビ＞

★ 枚方市山田池公園での状況

- ・9月11日：南向き斜面、階段状スイセン花壇に「ワルナスビ」が多数発生（写真-1）。あまりに多く発生しているので 管理事務所へ報告して、除草をお願いします。
- ・10月2日。機械による除草実施後。人手不足で手作業の除草は望めないため、根、茎は残ったままだった（写真-2）。今後更に多数発生することが予想される。未だ傷害事例は報告されていない。
- ・公園内、他の園路脇にはいかにも植栽されたように「ワルナスビ」が発生している（写真-3）。整地後のマルチング材に混ざっていたものと思われる。人が入る場所ではないが、ちょっと心配な状況になりつつある。

高比良麗子さん （大阪府）



1



2



3

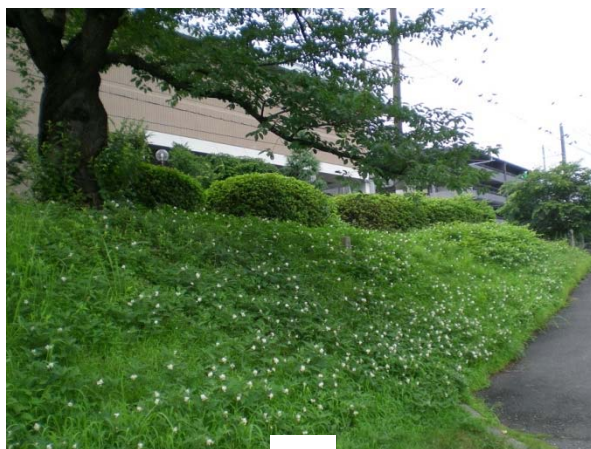
- ##### ★通勤途中の街路の植木の下から両側の目地にワルナスビが多数発生し、去年より明確に多くなっている。この道は通学路であり、また近くに水田もある。定期的に周辺住民での清掃も見られるので、ワルナスビのトゲによる傷害が予想される。

敖敏（Ao Min）さん （福井県鯖江市）

★京都市高野川堤防（高水敷側）に大発生

- ・小さなパッチを初めて見つけた約30年後の2000年初めには、2kmほどにわたって大小のパッチが堤防のり面に連続し観察されるようになった。対岸には全く存在せず、堤防沿いに植栽されたツツジ根鉢の土壤に混入して繁殖体が持ち込まれ、次第に分布を拡大したと考えられている。
- ・開花期（写真-4）には、一面に白っぽい斑点が見えるのでよく分かる（写真-5：7月）。

伊藤操子 （京都市左京区）



5



4

- ##### ★自宅のあるマンション敷地内のツツジの植込みの中に、数年前から毎年発生している。

伊藤操子 （神戸市中央区）

★河川敷（一級河川足羽川、福井市板垣町）で発生を見かけた（7月）。

中川豪さん（福井県）

★国道の路肩（つくば市、408号線、サツキ植栽）で発生を見かけた（8月）。

匿名希望Aさん（茨城県）

★公園緑地の植込み近くで発生を見かけた（9月）。

「びわこ文化公園」および「湖岸緑地公園」

小西真衣さん（滋賀県大津市）

＜ノイバラ＞

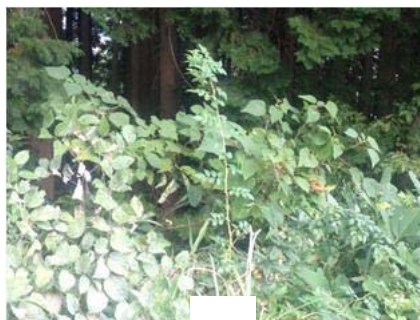
★ため池の土手の下の方に群生していた。ノイバラでしょうか？ 坂口晶代さん（福井県鯖江市）

★国道のり面で見かけた。バラのようなトゲあり。 古頭佐敏さん（山形県上山市）

頂いた写真で見る限り、どちらもノイバラだと思います（伊藤）。

★林道で見かけた（写真-6, 7, 8）。

志賀信子さん（熊本県阿蘇郡南阿蘇村）



★宝ヶ池公園のジョギング・散歩路で見かけた。道路に垂れ下がっており、歩行者が多いので気がつかないとかかなり危険（写真-9, 10）

伊藤幹二さん

（京都市左京区）



＜アメリカオニアザミ＞

★動物も近づかない、世界最強のトゲ雑草が神戸市中央区の歩道に出現、繁殖開始（写真-11）。幼児、ペットにはきわめて危険。触れば確実に怪我をする。

1～2年目：ロゼットで目立たず → 3年目：抽台・開花・結実・種子散布（写真-12, 13）

（種子の多くは風散布ではないようだ）

伊藤幹二さん（神戸市中央区）



11

12

13

★私の住んでいる大阪府豊能町では最近外来の雑草が問題になっています。

1. アメリカトゲアザミの侵入と定着（豊能町広報9月1日号に記載）

2. 国道477号線沿線では日本タンポポと西洋タンポポがちょうど50/50くらいに観察されます。
（私の観察）

匿名希望Bさん（大阪府豊能町）

★JRに乗っていて窓からふと見ると、駅のホームの端の線路際に開花したアメリカオニアザミが数本あるのを見つけた。

伊藤操子（兵庫県尼崎市）

＜セイヨウトゲアザミ＞

★・自身が使用している圃場（大阪府高槻市）の傍らにセイヨウトゲアザミが生育しており、観察後除去しようと思って素手でさわったところ、葉のトゲが思いのほか鋭利であったため、刺さってしまいしばらく痛かった。（治るのに少し時間がかかった覚えがある）。

・妻が小学生の頃、セイヨウトゲアザミの花がきれいと思い、つかんだところ、切り傷を負った。

茨城県つくば市（匿名希望Aさん）

＜ナワシロイチゴ＞

★土手の下の方に群生していました。実は美味しそうなラズベリー色でした（6月）。実の形からヘビイチゴではないと思います（写真-14）。

坂口晶代さん（福井県鯖江市）



14

＜ヤブヘビイチゴ＞

★会社敷地内の雑草繁茂部分に生えていて指にトゲが刺さった（写真-15, 16）。佐治健介さん（福井県鯖江市）



15



16

＜ハリビユ＞

★犬の散歩中に膝をかじった。半ズボンだった。熊本県上益城郡甲佐町田口より乙女小学校への通学路。
（写真-17, 18, 19）

松田元秋さん（熊本市）

写真でみたところ、「ハリビユ」です。暖地の畜産地帯に多く発生しています（伊藤）



17



18



19

＜ヒナタイノコズチ＞

★酔った勢いで草むら（大学構内の藪）で用を足していたら、スーツのズボンに大量のヒナタイノコズチの実が着いてしまい、ズボンがだめになってしまった。

匿名希望Aさん（京都市左京区）

＜カナムグラ＞

★歩道部分にはみ出している。つる部分にトゲがあり通行の際に足に怪我をする恐れ（写真-20, 21）。
佐治健介さん （群馬県富岡市）



20



21

★国道のり面草刈り鎌で除草していてアームカバーをしているが、たまたま隙間にカナムグラが引っ掛かり創傷した。

古頭佐敏さん （山形県村山市）

＜トゲチャ＞

★通勤路のフェンスと舗装路との間にかなりの数が生育している。
数年来よく見かけたが、小型で目立たなかった。
今年、植込み・フェンス周りなど、攪乱のないところで巨大化する傾向あり（2m）、神戸市内いたるところに発生。
誤って触れば怪我をするし、
オオアレチノギク、ヒメムカシヨモギと異なり、除草作業時の
傷害雑草でもある。
風散布種子により拡散。
（写真-22, 23）

伊藤幹二さん
（神戸市中央区）



22



23

＜ミゾソバ・ママコノシリヌグイ＞

★『ミゾソバ』（溝蕎）タデ科。湿地・河川敷などに生育する。茎には細かいトゲがあり写真を撮っていてチクチクした。花は中心部は色が薄く、花弁の先端は淡い紅色。白色や、サーモンピンクの物もあるらしい。開花前は近寄ってみるとコンペイトウに似て美しい。葉の形がソバに似ていて、湿気のある草地や水田の溝などに咲くことから、ミゾソバと名付けられた（写真-24：滋賀県伊香郡）。

匿名希望 C さん （滋賀県）

★国立公園（兵庫県淡路市）の水路沿い園路沿いに群生している（6月）。大型化し、周囲の他の雑草もすべて大きい。ビオトープの水の富栄養化が原因か？

伊藤幹二さん （兵庫県）

両種、花はそっくりですが、ミゾソバは葉の形がほこ型、ママコノシリヌグイは三角です。トゲは、名前のとおり一方の種の方が大きく鋭い（伊藤）。



24

＜サルトリイバラ＞

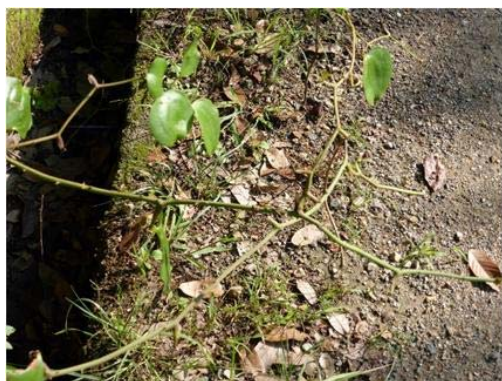
★公園遊歩道にあり歩行障害の原因になる。被害者がかなり多いのでは（写真-25）。
伊藤幹二さん（京都市）

＜タラノキ＞

★トゲ系の雑草を調べました（写真-26） 匿名希望 C さん（福井県）

＜ナワシログミ＞

★近所の公園の植込みに多い。もとは植栽されたものだが、他の植込み低木を駆逐して広がっている。
伊藤操子（神戸市中央区）



25



26



27

＜アメリカセンダングサ＞

★大豆畑で管理をしている際、アメリカセンダングサの種が衣服に付き、刺さってしまい困っている。また、除草剤を散布しているが、アメリカセンダングサだけには効かない。

志賀信子さん（熊本県阿蘇市）

★国道併設歩道道路脇に繁茂。同道路は小学校の通学路などにも利用される生活道路である。
丸山修司さん（群馬県）



28



29

＜オオオナモミ＞

★一級河川足羽川の河川敷にあった（写真-30，9月）。

中川豪さん（福井市）

葉形からみてオオオナモミです。イガオナモミではなく。



30

＜ヨウシュチョウセンアサガオ＞

- ★ 実を採取しようと思い、乾燥させた果実を素手で触っていて、果実のトゲが爪の隙間に刺さってしまい、しばらく痛かった。生活者としての被害ではありません。

匿名希望 A さん（茨城県つくば市）

＜アレチウリ＞

- ★ 琵琶湖の湖岸で大きな群落を作っていました。クズも少しありましたがアレチウリが優占していました。人が立ち入ることはほとんどないと思いますが・・・

小西真衣さん（滋賀県大津市）

＜複数の雑草＞

- ★ 南阿蘇村の名所である観音桜公園のステージ広場（写真-31）と桜広場をつなぐ道沿い。毎年草刈りを行っているが、刈り取った雑草を集める際にトゲ雑草で怪我をしている。調査した結果、5種類ものトゲ雑草（ノイバラ、モミジイチゴなど）を確認しました。実際に私も手にしてみました、どの雑草のトゲも鋭く軍手やゴム手袋でも貫通してしまいます。
- ・ 畦畔、林道などでトゲ雑草を多く見られると情報をいただきました。南阿蘇村は農作物が豊富で特に水がきれいなことが自慢の村ですが、観光地としても素晴らしいところです。雑草管理もよくされているのでトゲ雑草には苦勞されているようです。



31

トゲ雑草以外

＜ススキ・クズなど＞

- ★ 草刈後の集草作業中にススキ（写真-32）で手に切り傷をおった。

吉岡威さん（北九州市小倉南区）

- ★ 毎年 7 月になると一級河川足羽川の堤防草刈を行っているが、ススキ、クズ、ヨモギ等の大型で多年生雑草が優先している。作業中は足場の悪い中、猛暑の中、相当大変だと思うが、年 1 回の草刈作業では到底充分ではない。クズの歩道へのはみ出しで引っかかり、人が転倒したり、ススキの葉で手足が切れる傷害は充分考えられる。

（写真-33） 中川豪さん（福井市）

- ★ 毎年 6～7 月頃に国道併設歩道脇で草刈を行っているが、9～10 月頃の状態を観察してみると、たった 2、3 ヶ月の経過でクズ及びイタドリ等の大型の多年生雑草や、アメリカセンダングサのような繁殖生育力の極めて強力な 1 年生雑草が優先している。手足が切れる傷害や雑草巻き付きによる転倒事故なども十分あり得る（写真-34）。 丸山修司さん（群馬県）



32



33



34

＜セイタカアワダチソウ＞

- ★ 道路脇のり面の草刈りで、集草時に茎で腕を擦った。

佐治健介さん（福井市）

＜イネ科の集団＞

- ★ 半ズボン姿で草むらにおいて虫取りをしていたところ、知らないうちにメヒシバを中心としたイネ科雑草で太ももに細かい擦り傷が多くできており、しばらく痛かった。 匿名希望 A さん（大阪市）